



Press release

2021年3月26日

アクサ生命、相模原市と健康経営の普及促進及び健康増進に関する連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、2021年3月25日、相模原市(市長:本村 賢太郎)と、相互に連携・協働し、健康経営の普及促進及び健康増進を推進するため、協定を締結しました。

本協定は、相模原市と当社が相互に連携及び協働し、市民及び市内企業の従業員の健康増進に取り組むことによって、市民及び市内企業の従業員の健康寿命の延伸を図ることを目的としています。

本協定に基づき、当社は、保険事業や健康経営推進、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通して培った知見と人的ネットワークを相模原市の各種施策に役立てていただき、市民の皆さま及び市内企業にお勤めの皆様の健やかな生活と事業の活性化を通じた地域の持続的発展のために取り組んでまいります。

(連携・協働事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協働する。

- (1) 市内企業における健康経営の普及促進に関する事項
- (2) 市民及び市内企業の従業員の健康増進に関する事項
- (3) 市民及び市内企業の従業員の健康状況を把握するための定期的な情報共有と分析に関する事項
- (4) その他、双方合意の上、本協定の目的達成に必要なと認める事項

アクサ生命は相模原市内において、1974年4月に相模原商工会議所の特定退職金共済制度、2017年8月に同商工会議所の生命共済制度の受託を開始するなど、相模原商工会議所の共済制度の推進を通じて、事業所の皆さまの福利向上を図るべく、地域に根差した活動を続けてまいりました。

昨今では、従業員の健康増進を通じた事業の活性化と持続的発展に向け、事業所における健康経営の普及推進についても相模原商工会議所と協働し市内企業ならびに市民を対象とした啓発活動なども積極的に行っています。

アクサ生命は、市民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」となることを目指し、本協定の連携・協働事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命は、多様なステークホルダーに寄り添い、より良いパートナーとして「健康増進」のサポートを行っています。



※ESG投資とは、環境(environment)、社会(social)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資

写真 2021年3月25日(木) 連携協定締結式

**アクサ生命について**

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、254万の個人、2,400の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2019年度には、2,387億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

アクサグループについて

アクサは世界54ヶ国で15万3千人の従業員を擁し、1億500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2020年度通期の売上は1,032億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは43億ユーロ、2020年12月31日時点における運用資産総額は10,320億ユーロにのびます。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*上記のアクサグループ数値は2020年度のもの

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>